

極
め
た
い
に
エ
ロ
イ
ク

大
正
計
画
1

R-18
ADULT ONLY
.....
ORIGINAL
CHARACTER
BOOK



極甘妹のヒキコソリ矯正計画！



…俺はただひっそりと
平穏な時間を過ごして
いただけなんだ

自分なりに人に
迷惑をかけないよう
生きるつもりだった



…ああなんて
世の中だよ

終わってやがる



なあ
友達だろ？
助けてくれよ

このままじゃ
俺はアイツに

ルミナの
やつに

やつぱり
起きてたんだ



真人間に
されちまう！

もう…
お兄ちゃんてば

ヒキコモリはいいけど
電気消しっぱは
良くないよ？

如月ルミナは
こう見えて公務員だ

あのさ
お兄ちゃん

『公的妹制度』という
ものが最近できた

せめてベッドからは
降りよ？ね？

詳しくは知らないが
超少子化による
人手不足対策らしい

イヤどす
ほつといて
ください

ヒキコモリの社会復帰
支援のため派遣された
美少女生活指導員？

はあ？なんだよ
そのイカれた制度
アタマ湧いてんのか

ほらほらあつ
そんなの
ポイしてっ

一緒にっ

お話しよう
よおお……！

やめる貴様
局地型対現実装甲
に手を出すな

ひゃあっ!?



...おお!?

いたたたあ...

こいつ
ブラまだなのか

見た目薄っすいののに
結構柔らかい...

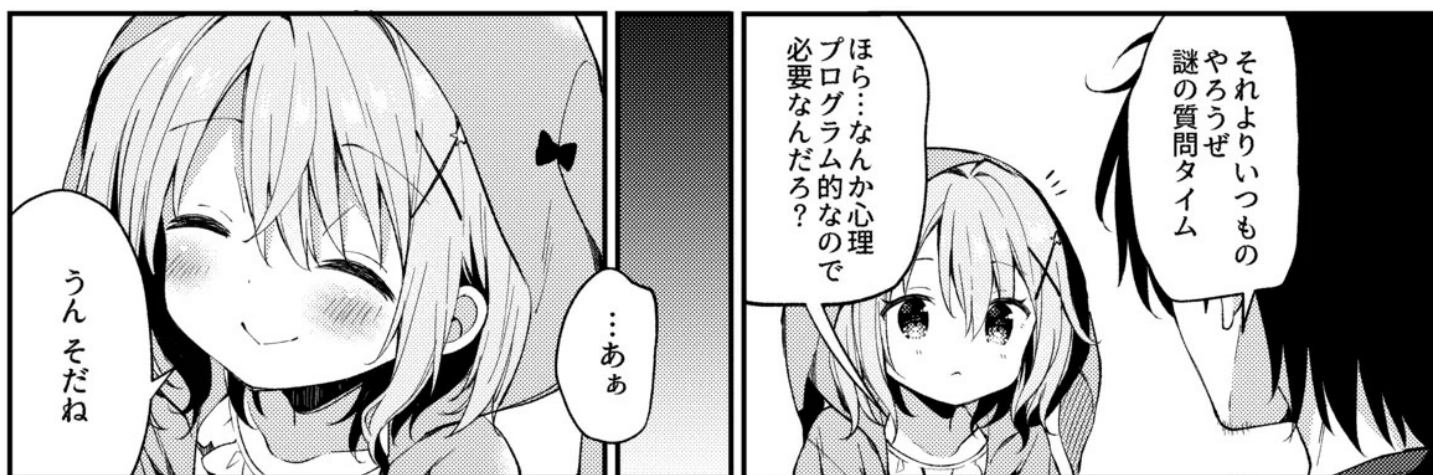


いかん!
油断していると
心がこじ開け
られる...

?



やっと...顔
見せてくれたね?





「宇宙とかは好きですか？」

「……」

「……またその質問かよ
どうでもいいだろ
そんなこと」



「確かに好きだったけど
そんなのはガキの頃の話でヒキコモリになる前のやつじゃん？」

「今更だっつーの
なあもういいだろ？
終わり終わり！」



「……
そう…だね」



「俺もう寝るからな？
寝込み襲ったりすんなよー」



「そんなコト
しないよおつ
……ちくしやう
かわいすぎて
本格的にマズい
このままじゃ
マジでマトモに
なっちゃう」



「どうにか
しないと——！」



...なんだ

つと

...さむっ

なんか最近
エアコンの効き
悪くね?

ううー...

2:22

まだ帰って
なかったのかよ

布団もかぶって
ねえし...
風邪引くだろ

おい
起きろよ

俺はどこに
寝ろって...



社会復帰プログラムだから
なんだか知らないが

当たり前みたいに
男の部屋に泊まり込んだり

妹でもないのに
お兄ちゃん呼びしたり

ベタベタ
くっ付いてくるわ
風呂にも入ってくるわ

どきどきで胸触っても
文句ひとつ言わねー

...くそっ

こんなエロいものが
常にパンツ穿いて
歩いてるんだぞ?

更正なんてできる
わけないだろ...!





うわっ…
初めて見たが
すっげえカタチ

子供でもちゃんと
身体の造りは
できてるのか



おおっ!?
けつこうすんなり
入ってく…

しかし
指一本でも
十分狭いなこれ



つかここまで
されても
起きないのかよ…

俺が言えた
立場じゃないが

幾らなんでも
無防備すぎじゃ



むーっ!?



ん...?...



もうやめ
ないからなっ



んふ...
んふ...!!

今更
遅いぞっ



あっ
や...ばっ

は
は







…いやいや
おかしいだろ

寝込み襲われ
でんだぞ？
…なに普通に
受け入れ
ちゃってんだよ！

何やつても何言っても
怒んねーし

やたら
白やかし

なんかいい
匂いとかするし

ダメだろ
普通はさあっ

こんなの妹への
役目じゃねえだろっ



…ねえ

…もしかして
お兄ちゃん

なんか難しい
こと考えてる？

えっ…

わたしに
甘えるのが
つらいの？

いや別に
俺は…!!



あはは...
優しいんだね

そんなの別に
いいのに

これはそんな
お兄ちゃんへの
ごほうびだから♡

お兄ちゃんね

もう充分生きるのを
がんばったんだよ

えらい♡

今までよく
がんばったね♡

よし♡



...そうかよ
そんならもう
遠慮はしねえよっ

...初めてだ
こんな感触

ヌルヌルに
包み込まれて

完全に受け入れ
られてるみたいで



ああダメだ

何も考えられねえ——



…はあっ♡

これっ
なんかっ♡

夢中になっ
ちやう…ね♡





わたしっ♡
いまハんな顔
してるよねっ

くそっ
俺も出してえっ
精液っ

今更だろっ

だって♡
女の子として
それはどうっ♡

ルミナの中にっ

かなっ♡

かわいいト顔
しやがって
マジの妹なら
どんだけ
良かったか…!

出るぞっ

本当に出す
からなっ

あっ♡♡♡

あっ♡♡♡
♡…♡♡♡



：明日から
頑張ろうかな
って思う

別にムリ
しなくても
いいのに...

ここまで甘えて
何もしねえとか
クズ過ぎるし

：少しだけ
足掻いてみるわ

今更だけど

：うん

そっか♪







三年以上に及んだ
単独滞在による
強い精神負荷

『はこぶね』が人工重力
ユニットを搭載して
いなければとくに
彼は壊れていました

いまこの時において
ヒキコモリという
『妄想』こそが彼の精神を
かろうじて支えています

ふわっ

うん

彼を救うには側にいる
誰かが必要でした

そうだね

…ですが
これで良かったん
でしょうか

Core

?
どういうこと?

他にもっと
何か…方法は
なかったのかと

仮に彼が正気に
戻ったところで
どうあれあなた達は…

…もう
エイエルってば

ハイハイ

すたっ

今更だよ

何度も
言ったよね?

これが
わたしの望んだ
最期だって

憧れてた家族に
…お兄ちゃんに
やっと会えた

ねえ
エイエル

それに比べたら
地球に戻れないの
くらい大したこと
じゃないんだ

ちよつとだけ
遠くまで
来ちゃったけど
わたし今
すつごく幸せだよ

…なぜ私には
身体がないのですか

今すぐあなたを
抱きしめて
あげたいのにつ

ええっ!?

なにっ!?

ああっ
人工知能に生まれて
しまったばかりに!
理不尽です!
私にも身体くださいっ

っ
そんなの
知らないよお…!





GIRLS EGG DISTOPIA

あいつとは大学からの付き合いになるけど、皆さん誤解されてるところも多いんですよ。
たとえば、マスコミの前だとあいつ、態度悪いところあるでしょう。
実のところね、ただ単に緊張してるだけなんです。
定時通信の時とか、あんなんで地球に戻ったらタレントに転身するとか言ってるんですよ。
雑誌のインタビューですらガチガチなのにバラエティに出たいとか、無理だろって(笑)。
ああ、あと妹に自慢したいらしいですよ。まだ子供だから〈コクーン〉の中にいるんですけど。
大人になって外に出てきた妹に胸を張って会いに行くんだって、酒飲むたびに。
なんだろうね、頭の中が基本的に中学生のままなんです。アイツ。
初の20代日本人宇宙飛行士だって注目されて、なんかいろいろ言われてますけど。
——如月深一という男の本当のところは、そういう純粋な部分にあるのかなって。

玄田 洋(JACSA職員・工学博士)
某ドキュメンタリ番組用の取材音声より、一部書き起こし

COCOA HOLIC Presents,
"Girls Egg Distopia"
Episode-8 "TLP"
in Sep, 2048

こんにちは、ユイザキです。

今回のお話は昔同人ゲーム用に作ったものを
エロ漫画用に改変したものです。
どこかで公開してたので知ってる人もいるかもしれませんね。

絵の面では今回ちょっと手の表現を頑張って見たので
注目して頂けるととっても嬉しいです。

次から恒例の文字だらけページですが、横書きなので
左から読んで下さい(:3_ゝ)_

改めて。

■■■■■とは、いわゆる旧時代に造られた世界最大規模の人工〈無能〉である。///ひどい！///

こんなのも一応、旧時代末期には宇宙開発や創薬、ネットワーク管理など人類のよきサポーターとして活躍したらしい。

以上のようなことを画面越しにまくし立てられた後助命(?)を懇願されたため、仕方なく手持ちのソリッドディスクにデータサルベージを行うことにした。

戦争時のネットワーク途絶によりこの施設に閉じ込められていたという言い分を信じるとするならば、このプログラムもある意味では要救助者にあたるのだろうか、
///なんとなく思ってしまったけど、ののちゃんに比べて私の扱いってなんだか雑じゃないですか、いじわる反対です。ソフトウェア生命体にだって人権はありますよ、きっと！///

こんな風に不要な干渉してくるのが困る。

何をどういじくってるのかわからないが、タチの悪いことにこういった茶々に対してこちらからテキストを上書きすることもできないし、そもそもデータ量がデタラメに多いせいかもしれないです！///ない。

とりあえずは要救助者の回復を待つ間、彼女のサポートを仰ぎつつ施設の探査を続行することにする。

#0605 10:00

その他特記事項なし。

水分の消費を避けるため 20 時間ほど拠点にて休息を取る。要救助者の容態も安定してきたようだ。

#0606 8:00

■■■■■の体調がある程度回復したため、本格的に帰還を検討し始める。

「棺桶」の中に収容されている状態では、何らかの方法でコミュニケーションが取れるらしく、彼女は■■■■■を先生と呼んでいた。

#0606 10:00

■■■■■と会話。

当該プログラム生命体の提供した情報によれば、旧時代では人体を仮死状態で長期間保存する技術を拙いながらも確立させており、要救助者は当時でも非合法の実験の対象とされていたとのこと。

要約すれば、■■■■■は自ら望む望まざるとに関わらずこの時間、この場所、この状況に置かれることになったということになる。

■■■■■はこの世にたった一人で存在している。

彼女は要救助者である。

つまり、彼女は救われなければならない。

#0607 8:00

メインシャフト・エレベータの修理が完了した。

かねてより脱出を検討していた■■■■■の指示により、要修理箇所の洗い出しや必要な道具・資材の確保なども含めて作業はおおむねスムーズに進行した。

///えらいでしょう///

はいはい、偉い偉い。

#0607 9:00

現時刻をもって地上への帰還を完了。

ベースキャンプにて食糧類補給の上、支部に帰投する。

あとのことなど知るか。

俺は好きに生きる。

(転記ここまで)

<<機構職員 A についての補足>>

6 月 14 日に地域支部にて探査報告書を提出後、無断欠勤。

以後当該人物との連絡は途絶し、現時点では所在不明となっています。

以上に示したテキストファイルは冒頭に記した通り、当該人物の所在不明が確認された際に行われた家宅捜索時に職員官舎に残されていた端末から発見された、旧時代遺構探査報告書(報 22180607-0285)の元となった草稿の復元データです。

当該人物 A については現在、この草稿には記載され正式な報告書には記載されてなかった人物および情報生命体と行動を共にしていることが予想されています。

この事態を受け、支部の理事会はただちにこの 2 名を対象に要保護対象指定を行い、2 小隊規模程度の軽武装をとまなう臨時捜索班を編成して現在その行方を追っています。

<<当該人物 A (ワクイ-03368) と行動を共にしていると思われる要保護対象者リスト>>

■千種のの

当該人物 A による報告書草稿が真実であるならば、旧時代から今なお生存していると思われる人類です。

大深度地下施設の電磁的遮蔽性を考慮すれば、現在発見されている中で有性生殖機能を有している唯一の女性と予想されるため、2218 年 6 月 20 日付で当機構の優先保護収容対象に指定されました。

■人工知能エイエル

先の戦争による技術後退の影響で、データ回収不能となった情報生命体の一部であり、当機構の最重要指定解析対象である MPA-0010 と同一の存在です。

現時点ですでに、本体である国際宇宙ステーション (ISS) 管理サーバ群や、月軌道ステーション"スペースアンカーファースト (SA1) "内にあるバックアップネットワークとの情報統合を完了していると思われ、当該人物 A が所持している情報機器類をコミュニケーション・インターフェイスとして活動していることが予想されます。

【補遺】報告メモ 22180607.txt

注意：

以下は、国連■■■■東アジア・極東支部所属の遺物探査担当職員のA（当時21歳）によって記録された、旧時代遺構探査報告書[報 22180613-0285]の草稿とされるテキストを元データファイルから原文ママで転記したものです。

* * *

（転記ここから）

///

文章力に自信がないため、現場で都度起こったことを端末のメモに記していき、帰還後に改めて報告書として転記・推敲をしてまとめることにする。

///

【旧時代大深度地下施設の探査報告】

・任務内容

旧時代施設類の内部構造探査

ビッグデータアーカイブのサルベージ・保守に用いるための予備パーツ入手ルート確保

・派遣地域

旧東海地方・■■■■岳山麓周辺

///

【経過メモ】

#0602 20:00

施設基部に到達。

非常階段の腐食・劣化が激しく、推測よりも大幅に深度があったため、予定より八時間ほど遅れている。

バッテリーの容量が心許ないため、照明の確保や報告書を書く目的以外での無駄なバッテリー消費は避けることにした。

#0603 12:00

データサーバールームとおぼしき区画に到達。

戦争時に一斉に給電系統が断たれたのと中性子の影響をほとんど受けなかった地下施設であるため、使える機器が大量に残っているかもしれないという支部の推測は間違っていなかった。

ことデータサルベージのためだけに使うとすれば、少なく見積もっても向こう百年ほどは困らないほどの資源量だろうか。

しかしこれだけの量となれば、探査部だけでは手に余る。

とりあえず自分の端末用の交換部品だけ確保しておいて、帰還後に回収班を呼ぶことを検討する。無事に帰還できればの話だが。

#0603 14:00

例の区画に到達。夥しい数の「棺桶」が並んでいる。

事前情報どおり、ここは旧時代末期におけるある種の収容施設だったようだ。

戦争以降そのまま放置されていたのだから、あれの中身がどうなっているのか想像するに難くない。

なぜこんなものが出来てしまったのか、その経緯はわからないしわかりたくもないが、この先にありうる事実を予想することならできる。

そもそも自分たちは盛大に自滅を起こした歴史上まれに見るばかな生き物であり、こういった細かい業の痕などというものはきっと、そこかしこに遺されているようなありふれたものなのだろう。

#0603 21:00

どうやら一部の区画だけ、まだ給電が生きているようだった。

施設内部のどこかに独立型のリアクターや原子力電池でもあるのだろうか、とにかく不幸中の幸運には違いない。

元々施設職員の仮眠室だったらしき部屋を拠点と定め、休息ついでに機器類の充電を開始する。

#0604 08:00

施設最深度にて要救助者を確認。

「棺桶」から生存した状態で出てきたこともさることながら、さらに驚くべきことに要救助者は女性の子供だった。

これが事実だとすれば、にわかには信じがたい話だが彼（この場合は「彼女」というのだったか？）は百年をゆうに超える間生きていた、ということになる。

極めて衰弱していたため、手持ちの非常食を与え安静にさせておく。

とりあえずこのまま数日間留まり、要救助者の回復を待つことにする。

#0604 10:00

時間が出来たため、施設の探査を続行。

後に続く回収班のため、施設内の構造を記録する必要がある。というか、まずは帰還ルートの確保を優先すべきなのだからここから手を付けるべきか。

崩落した非常階段ルートで帰還するには、自分とはもかくとしても要救助者にとっては流石に無理がある。

地上との通信は相変わらず途絶していた。

エレベータさえ生き残っていれば、すぐにでも地上に戻っているのだが。

節約を試みているものの、飲料水の残量が心配になってきた。とにかくあり合わせの資材で進入口まで照明の確保はしておく。

#0604 15:00

要救助者は『■■■■』というらしい。

色々与会話をしたが、やはりと言うべきかなかなか噛み合わない。なるほど、これがジェネレーションギャップというものか。少し違う気もするが。

主には旧時代の生活についてレクチャーを受けた。物質的に恵まれた生活様式は羨ましくはあったが、『学校』という制度だけは受け入れられない。

なんの縁もない他人同士を、同じ年同じ地域に生まれたというだけの理由で何十人も集まって集団生活を送らされるなんてものは、自分にとっては悪夢そのものである。

#0605 2:00

資材室の探索。

溶断器具の発掘に成功したため、嚴重に封鎖された【中央処理室】という区画に進入を試みることにする。

#0605 3:00

続いて、中央処理室の探索。

恐らくは「棺桶」を管理するためのメインコンピュータがあるのだろうと考えていたし、果たして事実そうであったのだが、室内がやたらと散らかっていたのが気になった。

なんというか施設の経年劣化による瓦礫の堆積とか、そういった類のものではなく、雑多な文字や絵などが印刷された紙がそこら中にばら撒かれている。

内容の詳細は省くが、どうやら旧時代に存在した男女間の恋愛や生殖行為を表現した漫画や小説が中心らしいとは後の当人の弁で知った。自分にはあまり理解できない趣味だ。

///待ってください！人の好みについてそういう風に言うのはやめませんか！///

当人とはすなわちこの施設のシステム全般を管理していた■■■■のことで、ネットワークを介して存在する///世界で一番かしこくてかわいい///人工知能

Cocoa Holic #31

発行■ココアホリック/ユイザキカズヤ
発行日■初版:2019. 4. 29

絵■ユイザキカズヤ
話■rK

デザイン■柊鯨さま

スペシャルサンクス■呉・イジス様

<http://c-holic.jp/>
xx_merry@hotmail.com

印刷■サングループ

 **SUN GROUP**
<http://www.sungroup.co.jp/>



issue
2019.4.29
Comic1★15



by Yuizaki Kazuya,
since 2010